



2022年7月6日
株式会社 阿波銀行

阿波丸一運送株式会社「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、阿波丸一運送株式会社（代表取締役 濱口 和也、本社：徳島県阿波市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	阿波丸一運送株式会社
所在地	徳島県阿波市阿波町東原 202 番地の 1
代表者	濱口 和也
業種	一般貨物運送業
設立	1970 年 2 月 18 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の 3 側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年7月6日



阿波丸一運送株式会社 代表取締役 濱口 和也

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	職場の安全衛生の向上	社員の健康管理・増進、健康的に働くことのできる職場環境の整備に努め、ドライバーの運転技術・安全意識向上や徹底した車両管理を行い、安全管理体制の構築と交通事故削減に努めます。	①(1)健康診断の実施 (2)運転者適正診断の実施		
			②(1)年2回実施 (2)2年に1度実施		
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	地球環境に配慮した低公害車の導入、営業所や倉庫照明のLED化、太陽光発電パネルを設置して再生エネルギー創出します。	①低公害車への切替 (2)LED化の推進		
			②(1)2030年までに10台入替 (2)2025年までに100%導入		
社会・経済	SDGsの取組みの表明	会社としてSDGsに取り組むことを決め、その社会的な意義や自社にとっての目的を従業員に伝え、社会へ貢献します。	①(1)従業員へのSDGsに関する教育研修の実施 (2)SDGsの取組みをHPで情報開示		
			②(1)年1回の周知研修実施 (2)2022年度までに情報開示		
社会・経済	貧困・飢餓の撲滅	全ての人々が健やかに暮らせる社会の実現のため、相対的貧困や飢餓をなくす活動に取組みます。	①地域の児童養護施設への継続的な寄付を通して、子どもたちの精神的な安定や学び・成長に繋がる活動を支援		
			②(1)小学校進学予定者へランドセル提供 (2)クリスマスケーキ提供		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。